

適性検査Ⅰ（共同作成型①） 解答例

〔問題1〕 一人ひとりの個人がしっかりと自律していれば、個人が集まって形成される社会が機能するという事。

〔問題2〕 互いに楽しい経験ができ、このグローバル社会を楽しく共生していく能力が身につく

〔問題3〕 日本の社会の特色である相互依存は人間社会の基盤となる大切なものであるが、他人に甘えすぎるともたれあいの人間関係が生まれる。相互依存と自律のバランスをうまくとっていくことが日本人の課題である。

グローバル化が進み国際的に相互依存している社会では、外国人を積極的に受け入れる姿勢をもつことが大切である。いろいろな文化背景の人々が助け合って生きていくことで地域社会を豊かにすることができる。

社会という集団の中で生きていく以上、相互依存の人間関係は必要不可欠なものであり、またそこには人間同士の温かいふれあい生まれる。しかし、異文化の人たちとの交流が増えてくると、その中には自律を重視する人もいるので、なれあいの人間関係ではうまくいかないことも出てくるだろう。そのような社会の中でうまくコミュニケーションをとっていくためには、集団の中の個としての自律が求められてくる。各個人が自律を目指す一方で、他者を温かく受け入れられる。そのような生き方ができたらよいと思う。

【配点】

〔問題1〕 20点 〔問題2〕 20点 〔問題3〕 60点